

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年3月14日

【評価実施概要】

事業所番号	0172001026		
法人名	有限会社 イマージュ		
事業所名	グループホーム 夢あかり		
所在地	小樽市長橋3丁目17番17号 (電 話) 0134-64-9666		
評価機関名	有限会社 ふるさとネットサービス		
所在地	札幌市中央区北1条西5丁目3 北1条ビル3階		
訪問調査日	平成21年3月10日	評価確定日	平成21年4月13日

【情報提供票より】 (21年2月28日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 18 年 3 月 15 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9 人	常勤 8人, 非常勤 1人, 常勤換算	8.5人

(2) 建物概要

建物構造	木造	造り
	1 階建ての	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	35,000円	その他の経費(月額)	光熱水費 25,000 円 暖房費(10~5月) 9,000円
敷 金	有 (円) ・ 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	350 円	昼食 350 円
	夕食	500 円	おやつ 円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要 (3月 10日現在)

利用者人数	9 名	男性	2 名	女性	7 名
要介護1	1 名	要介護2	4 名		
要介護3	3 名	要介護4	1 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 82.1 歳	最低 68 歳	最高 90 歳		

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	済生会小樽病院、おたる内科呼吸器科、島田脳神経外科、石橋病院、三ツ山病院、熊澤歯科
---------	---

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

福祉への思い入れが深い運営者が、きめ細やかなケアサービスを実践すべく開設された2棟目のホームです。緑豊かな自然環境と相互扶助の意識が高い地域の方々との良好な交流関係の中で、利用者は職員の寄り添いのもと、「我が家」で安心感に包まれた暮らしを継続しています。利用者と職員の絆も深く、家族としての信頼関係を築いています。季節を満喫できる四季折々の外出行事も楽しみ事の一つですが、とりわけ園児や近隣の子供達との触れ合いが、利用者の心を和ませています。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の改善事項、「運営推進会議の定期的な開催」「研修記録の整備」「介護計画に伴う書類の系統化」は、職員全員の取り組みにより改善が見られました。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	今回の自己評価は、各自記入した評価表に基づき、会議で検討を重ね作成しました。様々な視点からの振り返りで、新たな気づきを見出し、運営に活かしています。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議は定期的開催され、ホームの活動報告、自己・外部評価の取り組み、災害時の地域との協力体制など、運営の質の確保に繋がる課題が検討されています。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	家族の来訪時や電話などで、ホームへの意見や要望を把握し、改善項目については真摯に受け止め、職員全員の共有としています。第三者機関の相談窓口も伝えています。
重点項目⑤	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	相互扶助の意識が高い地域性により、開設当初から町内会行事(お祭り、町内清掃、廃品回収、総会出席)やホーム主催の行事(焼肉パーティーなど)には相互参加があり、自然体で近所付き合いが続けられています。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	利用者が、地域で安心して暮らし続けるための拠り所としての役割を十分に認識した、ホーム独自の理念を作り上げています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員全員は当たり前のこととして、理念に沿ったケアサービスを実践しており、さらに、毎朝の申し送り時に理念を復唱し、常に原点に立ち戻り、サービスの質の向上を図っています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	相互扶助の意識が高い地域性により、開設当初から、町内会行事（お祭り、町内清掃、廃品回収、総会出席）やホーム主催の行事（焼肉パーティーなど）には相互参加があり、自然体で近所付き合いが続けられています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己・外部評価の意義を職員全員が理解し、今回の自己評価は、各自記入した評価表に基づき、会議で検討を重ね作成しました。振り返りでの新たな気づきや、外部評価の具体的な改善策に向けての、話し合いが行なわれました。		

小樽市 グループホーム 夢あかり

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は定期的開催され、ホームの活動報告、自己・外部評価の取り組み、災害時の地域との協力体制など、運営の質の確保に繋がる課題が討議されています。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	行政の担当者とは、ホームの運営状況を報告し、その中で改善点への助言や情報をいただき、地域密着型サービスの基盤が強固となる取り組みが進められています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の来訪が多く、その都度、利用者の近況や職員の異動を報告しています。さらに、毎月、笑顔満載のホームの活動状況を掲載した広報紙を、金銭出納とともに郵送しています。また、外出行事などをDVDで家族の方々にも見ていただいています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の来訪時や電話などで、ホームへの意見や要望を把握し、改善項目については真摯に受け止め、職員全員の共有としています。第三者機関の相談窓口も伝えています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	離職が発生した場合は、2週間程度の引継ぎ期間を設け、さらに職員全員で、利用者の不安を取り除く配慮が行なわれています。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	運営者は、職員の力量や経験年数に応じて、内部・外部研修の機会を確保しています。研修費もホーム負担とし、向上心に繋がる取り組みを行なっています。参加後は、内部研修で報告を行ない、職員全員の共有としています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	運営者は、道グループホーム協議会、後志ケアネットワークの研修や交流会に、職員も参加する機会を設けています。また、ほかのホームからの研修受け入れや、相互の行事での職員、利用者間の交流が行なわれています。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用開始前にホームからの訪問で、生活歴や意向を把握し、さらに利用者や家族のホーム見学で活動状況を理解していただき、徐々に馴れ親しめる取り組みが図られています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は利用者から、野菜作り、調理方法、味付け、漬物作りなど、経験から得た知識・技術を教えていただいたり、夜勤時には労りの言葉をいただくなど、常に感謝の言葉が行き交い、ゆるぎない信頼関係を築いています。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者一人ひとりの思いや意向は、生活歴や家族の来訪時、電話などで情報収集し、さらに職員間での気づきを踏まえて心情を察する支援に努めています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	利用者の心身の状態は、毎朝の申し送り時に情報収集し、職員全員の共有としています。利用者や家族の意向を把握し、さらに、医療機関からの助言や指導を基に、会議で話し合いを重ね、一人ひとりに合った介護計画を作成しています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的な見直しは、3ヵ月毎に検討していますが、状態変化が発生した場合は、関係者と話し合い、現状に合った介護計画の見直しが図られています。関係書類の整備も系統化され、きめ細やかな介護計画になっています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者や家族の意向に沿って、受診、理・美容室、買物同行や、ゲストルームでの家族への宿泊支援など柔軟な対応をしています。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用開始以前のかかりつけ医への継続受診はもとより、協力医療機関による定期的な往診、検診により、適切な健康管理がされています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用開始時に利用者や家族に、重度化や終末期に向けた方針を説明し、状態変化に応じ、その都度、関係者と話し合い、ホームとして出来る支援を行なっていますが、方針を明文化し同意をいただくまでには至っていません。	○	今後は、ターミナルケアも視野に入れた関係書類の整備や、職員の知識・技術の習得を図りたいとの意向なので、取り組みに期待します。
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は利用者の尊厳を損ねることがないよう、言葉かけにも注意し、さり気ないトイレ誘導や、入浴も同性介助に配慮しています。個人情報の取り扱いも適切に管理されています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ホームとして一日の流れはありますが、利用者の心身の状態や意向に沿って、柔軟に支援しています。		

小樽市 グループホーム 夢あかり

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の好みを取り入れた献立になっており、食材の調達、下準備、食事、後片付けなど、体調や持てる力を考慮しながら、一緒に行なっていていただいています。食事時間は大切なコミュニケーションの場となっています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週2回の入浴日を設けていますが、利用者の心身の状態に合わせ、希望する日時に入浴できる支援をしています。入浴が困難な場合は、清拭、シャワー浴、足浴、洗髪などで、清潔を保持しています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者一人ひとりの得意分野を把握し、力量に応じて、掃除、調理、洗濯物干し・畳み、アイロン掛け、家庭菜園の手入れ、漬け物作りなどの役割を担っていただき、充実感に繋がる支援をしています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者の希望に沿って、散歩、買物、近所の喫茶店での寛ぎや、公園では、樹木や花々を眺め、遊んでいる子ども達との触れ合いなど、五感を刺激する取り組みが行なわれています。外出行事や外食などでは、利用者の笑顔がさらに増しています。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	防犯上、夜間のみ玄関は施錠していますが、日中は職員の見守りの下、自由に外出を楽しんでいます。センサーにより、出入りが確認出来ます。		

小樽市 グループホーム 夢あかり

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の協力の下、年1回、日中・夜間想定 の避難訓練をマニュアルに沿って実施しています。災害時の一次的避難場所は近所の高校に協力をお願いしています。近隣の方々の協力体制も整っています。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士の指導の下、一日の水分量は1,500cc、カロリーは1,600とし、栄養バランスに配慮した献立になっています。摂取量はチェック表に記録し、職員全員の共有になっています。食事形態も、一人ひとりに合わせた適切な支援をしています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	採光を十分に取入れた居間で、利用者はゆったりとした時間を過ごしています。窓からの景色、季節毎の作品、外出行事などで、四季の移り変わりを感じています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者や家族と相談しながら、居心地良く過ごせるよう、家具や調度品を安全面も配慮して設置しています。自分の部屋としての存在感が感じられる居室です。		

※ は、重点項目。